

議決権行使レポート

証券コード 6315

会社名 TOWA 株式会社

	賛成	反対	棄権
議案 取締役（監査党委員である取締役を除く。）5名選任の件			
岡田 博和 氏	○		
石田 耕一 氏	○		
柴原 信隆 氏	○		
西村 一洋 氏	○		
三浦 宗男 氏	○		

上記の推奨をした理由

まず、過去に不祥事も起こしていない、経験豊富な5名なので、特に反対する理由がないと判断した。岡田博和氏は、1988年から取締役を務めあげ、経営者としてのリーダーシップを遺憾なく発揮していると考えられる。石田耕一氏は、1985年の入社後長年生産部門に従事したのち、現在はコア技術事業本部、開発本部、シンギュレーション開発本部を担当しており、その経験と実績は会社経営に大きく貢献していると考えられる。柴原信隆氏は、1987年の入社後、2014年からTOWA半導体設備有限公司の総経理を務めた。その経験や法務・コンプライアンススキルはグループに不可欠だと考えられる。西村一洋氏は、2014年での売上高171.6億円、営業利益4.5億円から10年で500億円、営業利益80億円にするというTOWA10年ビジョンの実現に大きく貢献しており、今後もグループの生産体制の強化に必要な人物だと考えられる。三浦宗男氏は、海外子会社での約10年間の勤務後、2020年から、キャッシュフローの改善を行い、収益力の向上に大きく貢献した。これらの豊富な海外経験や実績は、グループの持続的な成長に必要なだと考えられる。以上から、取締役の選任に反対する理由はないと考えられる。

次に業績に関して、下の表はTOWA株式会社の過去5期のROEとその平均を示している（小数第3位四捨五入）。私が参照した三菱UFJフィナンシャルグループの基準では、過去3期連続で5%を下回った場合反対、ISSの基準では、過去5期の平均も5%を下回った場合反対となっている。表からわかる通り、TOWA株式会社はどちらの基準も満たしている。ただし、ISSは新型コロナウイルス感染症が企業業績に与える多大な影響を考慮し、ROEが企業の資本生産性の指標として機能していないと考え、ROE基準を現在も停止している。しかし、新型コロナウイルスの影響がありながらもTOWA株式会社は基準の5%を大きく上回っている。よって業績の面からも取締役の選任に賛成である。

	2019	2020	2021	2022	2023	平均
ROE(%)	3.18	1.37	8.54	19.96	15.56	9.72

最後に、社外取締役は取締役9人に対し3人と3分の1以上おり、女性取締役もいるため、これらの点からも反対する理由はない。

以上の理由から、取締役選任の件に関して、5名全員を賛成とした。

参考資料

TOWA 株式会社『第45回定時株主総会招集ご通知』 URL:

https://www.towajapan.co.jp/download_file/view/2859/226/ (最終参照日 2023年6月24日)

TOWA 株式会社『2023年3月期 決算単身(日本基準)(連結)』 URL:

https://www.towajapan.co.jp/download_file/view/2842/220/ (最終参照日 2023年6月24日)

ISS『2023年度版 日本向け議決権行使助言基準』 URL:

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf> (最終参照日 2023年6月24日)

ISS『新型コロナウイルス感染症の世界的流行を踏まえたISS日本向け議決権行使基準の対応』 URL: <https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Policy-Guidance-Impacts-of-COVID-19-Japanese.pdf> (最終参照日 2023年6月24日)

三菱UFJフィナンシャルグループ『受託財産運用における株式議決権行使』 URL:

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/pdf/unyoubu_kabu_8_pdf.pdf (最終参照日 2023年6月24日)